

【二回戦】 A⑥ 7/14

5回コールドゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
佐世保市役所	0	0	0	0	1					1
長崎サニクリーン	1	0	3	2	2x					8

開始 10:42 終了 12:02 所要 1時間20分

【審判】 田中康隆

【三塁打】 里山達也

小田剣生

【二塁打】 奥田楓2、平田諒馬、里山達也

加藤陽介

白川 透

【佐世保市役所】

打安点球

④ 濱村 綾一	24	2	0	0	1
⑧ 空閑 圭	34	2	0	0	0
⑥ 崎村 憲壮	26	2	0	0	0
② 下條 光希	23	2	0	0	0
③ 川島健太郎	32	2	1	0	0
⑧ 末崎 幸広	29	1	0	0	0
H 久保幸太郎	31	1	0	0	0
9 吉本 亮将	21	0	0	0	0
⑦ 草葉 健太	29	2	0	0	0
① 迎 義孝	30	2	1	1	0
⑤ 早田 幸平	25	1	0	0	1

犠0振4残3併0失0 17 2 1 2

両チーム無失策の試合展開は、長崎サニクリーンが長打5本を含む13安打で8得点し7点差の五回コールド勝ちした。中でも3番の里山は三塁打1、二塁打1含む4打数4安打を左右に打ち分け、コールド決定打含む3打点を挙げた。

初回一死二塁に里山の右前打で先制すると、二回の先頭奥田の左中間二塁打は後続の三者が倒れて実らなかったが、三回に里山の左三塁打から死球の一三塁に西がタイムリー打。奥田の左中間二塁打で二者を還し3得点。四回には佐々田の内野安打から平田の右線、里山の左線と連続適時二塁打で2点を追加。五回は四球から佐々田の安打で一二塁とし、4打席目の平野が左適時打。二死後に里山の右前打で二走が還り7点差コールド。

防戦一方の佐世保市役所は四回までに出した走者は初回先頭の四球だけ。五回先頭の川島が中前打し二つの内野ゴロで進塁した二死三塁に、ここまで10安打を浴びて6失点ながらもマウンドを死守した迎が、中前適時打し一矢を報いた。

佐世保市役所が天皇賜杯県大会に参加するのは支部内には親和銀行と、現在は休部となっている愛健医院のA級2チームが所属しており中々容易では無かった。平成30年間で見れば、5年に佐世保2枠で親和銀行と共に出場が1回きり。1勝を挙げて優勝した長崎県経済連に二回戦で敗退している。

【長崎サニクリーン】

打安点球

⑧ 草野 青空	24	3	1	1	0
⑦ 平田 諒馬	24	2	1	1	2
④ 里山 達也	31	4	4	3	0
③ 久保田優希	25	2	2	0	1
⑨ 野口 昇馬	23	2	0	0	1
⑤ 西 将正	23	3	1	1	0
② 奥田 楓	23	3	2	2	0
① 浦志 将貴	24	2	0	0	0
H 小嶋 大智	27	0	0	0	1
R 富谷 誠志	26	0	0	0	0
⑥ 佐々田伸弘	30	3	2	0	0

犠0振1残8併1失0 24 13 8 5

